

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和4年5月27日　第8号

十七世名人

　各学年ともチャイム着席の指導を行っています、とはじめて時間の話をしようと思いましたが、個人なビックニュ－スが飛び込んできたので、今日はそちらの話。

将棋の世界の最高の位が「名人」位。実力者１０人のリーグ戦(A級と言います)を勝ち上がった人が名人に挑戦します。このA級の下には、B1、B2、C1、C2の各リ－グがあり、それを勝ち抜いたものがランクを上げていきます。だから、どんなに強い棋士でも名人挑戦までは、56年かかります。

今、最強の棋士と言われている藤井聡太さんでも今年ようやくA級棋士の仲間入り。名人挑戦は、早くても来春。

さて、この名人位。通算５期達成すると「永世名人」の称号が与えられます。この称号は、江戸時代から続く伝統ある称号。

１９９７年第５５期名人戦。ときの名人は、羽生善治さん。挑戦者が谷川浩司さん。羽生名人は４期連続の名人。谷川さんは通算４期での挑戦。７番勝負は十七世名人をかけた戦い。

その初戦が地元堺市の大仙公園で開幕というのも、当時興奮した理由の一つ。

結果は4勝2敗で谷川さんの勝ち。引退後、十七世名人を名乗る資格を獲得。

月日が流れて、谷川さんが還暦(60歳)とか。それを契機に現役でありながら十七世名人を名乗ることに。

私にとってのビックニュ－スでした。